

わたしの 幸せな結婚

この世界に一人きりだと思っていた
あなたに出会うまでは



目黒蓮 (Snow Man) 今田美桜

監督：塚原あゆ子

脚本：菅野友恵

「最愛」「MIU404」「アンナ・カレーニク」

「浅田家!」「陽だまりの彼女」

原作：顎木あくみ「わたしの幸せな結婚」(富士見L文庫/KADOKAWA刊)

©2023 映画『わたしの幸せな結婚』製作委員会

2023.3.17 Fri.
Roadshow



累計発行部数500万部　いま最も注目のラブストーリーを
塚原あゆ子監督が待望の映画化

「最愛」「MIU404」「アンナナチュラル」

「であいこの結婚に、幸せなんてないと思っていた——」

文明開化もめざましい近代日本。帝都に屋敷を構える名家の娘・齋森美世さいもりみよ（今田美桜）は実母を早くに亡くし、継母と義母妹に虐げられながら使用人同然に扱われてきた。何もかも諦め、日々耐え忍んで生きる彼女に追い打ちをかけるように命じられたのは、冷酷無慈悲と噂の軍人・久堂清霞くどうさやか（目黒蓮）との政略結婚だった。数々の婚約者候補たちが三日を待たずして逃げ出したという悪評の通り、清霞は初対面で美世に冷たく言い放つ。

「ここでは私の言うことに絶対に従え。私が出て行けと言ったら出て行け。死ねと言ったら死ね——」

ところが、逃げ帰る場所などない美世は、戸惑いながらも久堂家で過ごすうちに、清霞が実は噂のような冷酷な人物ではないことに気づいていく。そして清霞もまた、容姿や家柄ゆえに言い寄ってきたこれまでの婚約者たちと違うものを美世に感じ、固く閉ざしていた心を少しずつ開くようになる。

次第に心を通わせていく二人。しかしその頃、周囲では謎の襲撃事件が相次いで発生し、それはやがて、帝都全体を脅かす事態となっていく。そして、清霞と美世の前にも、過酷な運命が待ち受けていた…。